

## 冬(2月に開花)

※開花時期は四季の森公園を基準としたものです

### アセビ(ツツジ科)

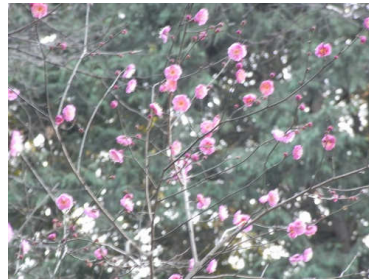
2月上旬～4月上旬  
じゃぶじゃぶ池など



漢字で「馬酔木」と書き、家畜が誤って食べると毒でシビレたようになることが名の由来です。花は白とピンクがあり、新緑も薄赤く色づきます。

### ウメ(バラ科)

2月上旬～3月中旬  
花木園・清水の谷(田んぼ)の四阿



紅梅は清水の谷の四阿付近で1月下旬に咲き始めます。当園のウメはそれほど数はありませんが、華やかなサクラに対しウメは雅でよい香りがします。

### オオイヌノフグリ(ゴマノハグサ科)

2月～5月  
春の草原



在来のイヌノフグリにとって代わってしまった外来種ですが、全国に拡がり、小さなルリ色の花は早春を代表するような花になりました。

### カンヒザクラ(バラ科)

2月中旬～3月下旬  
さくらの谷・花木園



紅色の花が下向きに垂れ下がって咲きます。九州の方では旧正月の頃に咲くので元日ザクラとも呼ばれています。

### キクザキイチゲ(キンポウゲ科)

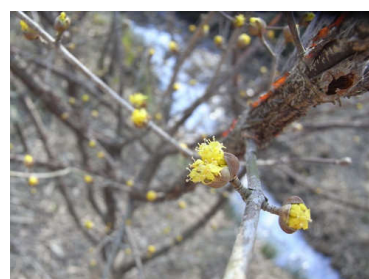
2月下旬～3月下旬  
里山花壇



3月中旬になると花が平開するようになります。花の色は白、薄紫、赤紫といろいろです。葉が細かく裂けているのが特徴です。イチゲは漢字で「一華」と書きます。

### サンシュユ(ミズキ科)

2月上旬～4月上旬  
しょうぶ園



早春に咲く黄色い花の1つです。近づいてよく見ると花弁が4枚ある花が集まっています。この時期の樹皮ははがれ陽の光が透けて赤色の翼のように見えます。

## 冬(2月に開花)

※開花時期は四季の森公園を基準としたものです

### スイセン(ヒガンバナ科)

2月下旬～4月上旬  
園内各所



その名の美少年が水面に写るわが身に恋し、身を投げた化身がスイセンと言われナルシストの語源となっています。

### セツブンソウ(キンポウゲ科)

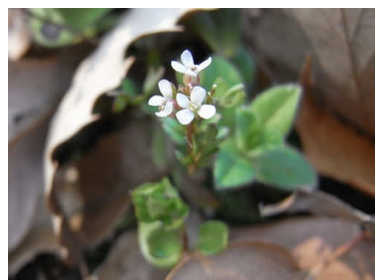
2月中旬～3月上旬  
里山花壇



毎年節分の頃に開花します。白い花弁のように見えるのはガクで、黄色いオシベに見えるのが花弁が退化したものです。オシベは青紫色の部分です。近くにフクジュソウも顔を出していますので観察する際は踏まないように足元に注意して下さい。

### タネツケバナ(アブラナ科)

2月～5月  
清水の谷(田んぼ)・しょうぶ園



田んぼやあぜにこの花が咲く頃に、稲の種もみを水につけたことが名の由来です。

### ネコヤナギ(ヤナギ科)

2月上旬～4月  
はす池の水辺



冬の殻がとれて現れた白い毛に覆われた花芽(穂)に雨滴がついてよく目立ちます。雄花・雌花の別があり、花粉などがついて次第に黄色～紅色に変化していきます。ネコヤナギは水辺を好みます。

### ヒメウス(キンポウゲ科)

2月中旬～4月  
春の草原



白くとがった花弁に見えるのはガク片。花弁は中心部にある黄色のもので薄緑色のオシベを取り囲むようにあります。切れ込みのある独特の形の葉とともに可憐なイメージがします。

### ヒメオドリコソウ(シソ科)

2月下旬～4月  
清水の谷(田んぼ)・しょうぶ園・日当たりのよい園路



オオイヌノフグリと同じように帰化植物ですが春の代表的な花になっています。上部の葉は紫褐色に色づきます。出始めの下部の葉はハートです。写真の個体は珍しく古い木に生育していました。

## 冬(2月に開花)

※開花時期は四季の森公園を基準としたものです

### フクジュソウ(キンポウゲ科)

2月中旬～3月上旬  
じゃぶ池園路



漢字で福寿草と書き縁起がよい名なので祝い事に使われたりします。葉はニンジンの葉によく似た切れ込みが深い葉です。

### ボケ(バラ科)

2月中旬～3月下旬  
東口入口



中国原産で日本へは平安時代に渡来したといわれます。鮮やかな赤い花を早春に咲かせます。